

# 平成27年度 全国公立学校教頭会研修会 静岡大会 報告書

副会長

木 立 恵 人

1 日 程 平成27年7月29日（水）～7月31日（金）

2 場 所 静岡県浜松市 全体会場 アクトシティ浜松  
分科会場 アクトシティホテル浜松（特別分科会Ⅰ）



3 日 程

(1) 7月29日（水） 13:00 開会行事



14:00 シンポジウム

「郷土を愛し 人との関わりを大切にし  
夢に羽ばたく」

コーディネーター 村山 功氏（静岡大学大学院）

シンポジスト 杉田 洋氏（國學院大學）

平山佐知子氏（フリーアナウンサー）

松永 勝裕氏（アンビ・ア代表取締役）



(2) 7月30日（木） 分科会 特別分科会Ⅰ

テーマ 「21世紀社会に求められる『資質・能力』を踏まえた

教育課程の編成、実践をリードする副校長・教頭の役割」

①基調提案 「21世紀社会に求められる『資質・能力』を踏まえた

教育課程の編成、実践をリードする副校長・教頭の役割」

大杉 昭英氏

（国立教育政策研究所初等中等教育研究部長）

- ・「子どもたちにどのような力を身につけていくか」という新しい学習指導要領の理念を踏まえ、これからの「カリキュラム・マネジメント」については、以下の3点が大切

- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと
- ② 教育課程を編成し、実践し、評価して改善を図る一連の PDCA サイクルを確立すること
- ③ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等とを地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること

- ・ PISA 型読解力

- ・ テキストの中の情報の取り出し
- ・ テキストの意味理解（解釈）
- ・ 情報を知識や経験に関連付ける（熟考・評価）



- ② 演習 東京・愛知・静岡・三重・徳島・青森（私）の6名で  
基調提案を基に、各学校の実態紹介をしたのち、討議
  - ・ 教育課程編成について
  - ・ 基調提案についての意見

- (3) 7月31日（金） 記念講演 「歴史に学ぶ補佐役」  
小和田 哲男氏（静岡大学名誉教授）



- 1 戦国の名参謀
- 2 補佐役の役割
- 3 時代によって異なる家康の補佐役
- 4 家康の人材観



補助資料（写真集）

